

一九九六年二月二十五日
発行



第80卷 第1号

史学・地理学・考古学

論 説

- ポーランド「人民政権」の支配確立と
民族的再編……………吉 岡 潤 (1)
——戦後農地改革をめぐる政治状況を軸に——
- 『熊谷家伝記』にみる開発定住と空間占有……………米 家 泰 作 (38)
——落人開村伝説の読み解き——
- 合衆国労働党に関する一考察……………中 野 耕 太 郎 (75)
——第一次大戦後の社会改革運動——
- 民本主義論の終焉と二大政党制論の改造……………小 関 素 明 (109)
——龜山政道のナショナル・デモクラシー論と二大政党制論——

書 評

- 杉本淑彦著『文明の帝国』……………平 野 千 果 子 (147)

紹 介

- 守山記生著『北フランス・ベルギー中世都市研究』(佐藤公美)
樺山紘一著『西洋中世像の革新』(青谷秀紀)

史 学 研 究 会

京都大学文学部内

ダリーをめぐる教会側の見解や社会的要請とその変遷をしめす。

最後に新井由紀夫「一五世紀のブランプトン家と結婚——イングランド北部における一ジェントリ家系の視点から」は、イングランド北部の地域政治社会とジェントリ、またその結婚の特徴を経済的・社会的点からまとめた後に、ブランプトン家の結婚について分析をくわえ、結婚が家系維持において有効な働きをなしたことをしめす。

こうして本書を各論考別に見てきたが、筆者の専門・関心によって各論考にあてられた字数に差があることはお許しいただきたい。では、最後に若干の私見を述べて終りとさせて頂く。本書には、現在国内の第一線で活躍する若手・中堅研究者の論考が取められているわけであるが、各論考の質には若干のばらつきがある。もとよりこうした書物の性質上、限られた紙幅で問題設定から論証、展望までをしめすのは無理があろうし、その上でオリジナルな議論を展開しづらいたるうが、単に研究史のフォロワーの域を出ていないように見受けられるものもあった。しかし、逆に紙幅を考えればそれも有効なものであるかもしれないし、

明確な視点のもとに的確に議論されている力作も多かった。いずれにせよ、多岐にわたるテーマでのそれぞれの最新の研究・議論、ひいては最新の中世史研究のありかたといったものまでをカバーしたいと願う研究者および読者にとって、本書は有益なものとなろう。

(B5判 三三三頁 一九九五年九月)

刀水書房 七九三(円)

(青谷秀紀 京都大学大学院生)

受贈図書

(一九九六年三月二二日)
一九九六年六月一〇日)

文化学年報(同志社大学文化学会) 四五

一橋論叢(一橋大学一橋学会) 一一五—

三、四、五

人文地理(人文地理学会) 四八一—

文獻ジャーナル(富士短期大学出版部)

三五—六

人文科学論集(信州大学人文学部 人間情報

報学科編) 三〇

人文科学論集(信州大学人文学部 文化コ

ミュニケーション学科編) 三〇

地域史研究はこたて(函館中央編さん室)

二三

総合研究所報(福岡大学総合研究所) 一

一二(人文科学編一一七)

東京商船大学研究報告 人文科学(東京商

船大学) 四六

古脊椎動物学報(中国科学院 古脊椎動物

与古人類研究所) 三三一、四

人文論叢(福岡大学総合研究所) 二七一

四

駿台史学(駿台史学会) 九六、九七

撰大人文学(撰南大学国際言語文化学部)

三

立命館文学(立命館大学人文学会) 五四

四

考古学報(中国科学院考古研究所) 一九

九六一

一橋研究(一橋大学大学院一橋研究編集委員会) 二〇一、二、三、四

日本学士院紀要(日本学士院) 五〇一

二

社会学年誌(早稲田社会学会) 三七

青丘学術論集(韓国文化研究振興財団)

八

山形大学史学論集(山形大学人文・教養歴史学研究室 山形史学会) 一六

人文学報(京都大学人文科学研究所) 七七

RIJSUMBIKAN LAW REVIEW 一二

皇学館大学紀要(皇学館大学) 三四

催しもの案内 歴史を探るいにしえへの旅

(長野県立歴史館) 一九九六年四月〜一九九七年三月

紀要(中央大学文学部) 史学科四一

アジア研究所紀要(亜細亜大学アジア研究所) 二二

アジア・アフリカ文化研究所研究年報(東

洋大学) 三〇

史学館報(史学館) 六四

ふくいミュージアム(福井県立博物館)

二九

人文論叢(東洋工業大学) 二一

日本歴史研究(日本歴史研究会) 創刊号

中国唐代学会会刊(中華民国 臺北) 一九九五年 第六期

Current Contents of Academic Journals in Japan(Center for Academic Publications Japan) 一一一

立命館産業社会論集(立命館産業社会学会) 三一、三、四

森(財) 林野弘済会 二二一

斎王と平安歌人たち 企画展ポスター(斎宮歴史博物館) 一九九六年四月二八日〜六月二日

日本文化研究所紀要(亜細亜大学日本文化研究所) 一九九五一一

三康文化研究所年報(三康文化研究所) 二六、二七

東北大学文学部研究年報(東北大学文学部) 四五

桃山歴史・地理(京都教育大学史学会) 三〇 記念号

豊後国香々地荘——国東半島荘園村落遺跡

詳細分布調査概報——(大分県立宇佐風土記の丘歴史民俗資料館) 一九九六—三

研究発表と座談会 明王の圖像研究会報告

書(仏教美術研究上野記念財団助成研究会) 第二六冊

史観(早稲田大学史学会) 一三四

史料(皇学館大学史料編纂所) 一三八〜一四一

同朋大学仏教文化研究所報(同朋大学仏教文化研究所) 九

社会科学論叢(長崎大学教養学部) 五一

研究紀要(尾道短期大学) 四五—一

法政史論(法政大学大学院日本史学会) 二二

ながめて、のぞいて、きりぬいて——浮絵—眼鏡絵—立版古—企画展パンフレット(土浦市立博物館) 一九九六年五月二日〜六月一六日

栃木史学(国学院大学栃木短期大学史学会) 一〇

神道史研究(神道史学会) 四四—二

広島大学文学部紀要(広島大学文学部) 五五、五五特輯号一〜三

民俗学研究所紀要(成城大学民俗学研究所)

二〇

諸國叢書(成城大学民俗学研究所) 一三

歴史学報(歴史学会) 一四九

人文学科論集(茨城大学人文学部) 二九

人文学部紀要(茨城大学人文学部) 二九

(社会科学)

企画展図録「福井の生んだ奇才・浮世絵師

夢楽洞万司の世界」(福井県立博物館)

一九九六年四月二五日～六月二三日

人文研究(神戸薬科大学) 二〇

岡山市立オリエント美術館研究紀要(岡山

市立オリエント美術館) 一四

3ТНОТРАФІЧЕСКОЕ ОБОЗРЕНІЕ

(НАУКА) 1

研究紀要(長野県立歴史館) 二

東アジア研究(大阪経済法科大学アジア研

究所) 一、一、一一

HAND BOOK For the Asian Research

Institute(大阪経済法科大学アジア研究

所) 一九九六年三月

経済学論集(龍谷大学経済学会) 三五一四

ポスター 大阪歴史学会大会(大阪歴史学

会) 一九九六年六月三〇日

アジア研究所報(亜細亜大学アジア研究

所) 八二

史跡と美術(史跡美術同致会) 六六一四

大倉山論集(大倉精神文化研究所) 三九

大倉山夏季公開講座(大倉精神文化研究所)

平成七年度

日本文化史研究(帝塚山短期大学 日本文

化史学会) 二四

古脊椎動物学報(中国科学院 古脊椎動物

与古人類研究所) 三四一

歴史研究(大阪府立大学) 三四

紀州経済史文化史研究紀要(和歌山大学紀

州経済史文化史研究所) 一六

神戸大学史学年報(神戸大学史学研究会)

五

史学研究集録(国学院大学大学院日本史学

専攻大学院会) 二一

歴史教育論集(歴史教育学会) 二〇

韓国史研究叢報(国史編纂委員会) 九二

日本歴史研究(日本歴史研究会) 創刊号

中国唐代学会(中華民国 臺北) 六

平将門資料集(岩井市史編さん委員会)

岩井市史別編 一九九六年三月

帝京史学(帝京大学文学部史学科) 一一

地域研ニュース(国立民族学博物館 地域

研究企画交流センター) 三

編集後記

一九九六年、編集事務の苦業を初体験した一年を振り返りつつ、八〇巻一号をお届けします。どれも意欲的な力作ばかりです。どうぞ、ご吟味ください。

ところで、本号は近・現代史の比重が高い一書となりました。編集者としてのバランス感覚からは、いくぶん気になる事実ですが、同業者としては、ひそかに喜びを感じ得ません。若気のいたりと、お許しください。(及)

本誌には文部省科学研究費補助金研究成果公開促進費が交付されております。

一九九六年二月二五日印刷 定価二〇〇円
一九九七年一月一日発行 送料六〇円

史林 第八〇巻第一号(通巻第四〇二号)
京都市左京区吉田本町
京都大学文学部内

発行人 史学研究会
振替京都〇二〇七〇一二二五二番
理事長 間野英二
印刷所 中村印刷株式会社
京都市南区上鳥羽藪田二

THE SHIRIN

or the

JOURNAL OF HISTORY

Vol. LXXX No. 1 January 1997

CONTENTS

Articles :

- YOSHIOKA Jun: The Establishment of the "People's Authorities" in Poland and the Change in the Ethno-National Composition of the Polish State..... (1)
—The Political Situation around the Realization of the Land Reform—
- KOMEIE Taisaku: Reexamination of a Family History in the Mountainous Area of Central Japan..... (38)
—Settling Down and Territorializing in a Reconstituted Past—
- NAKANO Kotaro: The Development of the U. S. Labor Party Movement (75)
—A Social Reform Movement in Post WWI America—
- OZEKI Motoaki: The End of Minponshugi Theory and Restructuring of The Theory on The Two Party System (109)
—Royama Masamichi's Theory on National Democracy and The Two Party System—

Book Review :

- SUGIMOTO Yoshihiko: Empire colonisateur (HIRANO Chikako)..... (147)

Miscellaneous :

Published

by

THE SHIGAKU KENKYUKAI

(The Society of Historical Research)

Kyoto University, Kyoto, Japan

ISSN 0386-9369